

専門研究A

特別支援学校における学校マネジメントと校長
のリーダーシップの在り方に関する研究

(平成 23 年度～24 年度)

研究成果報告書

平成25年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

はじめに

本研究所では、特別支援教育の推進に関する研究班（以下推進班）の研究として、平成20年度から2期にわたって特別支援学校における学校評価について研究を行ってきました。この研究では、特別支援学校における「学校評価」の実態調査を実施し、それをもとに学校評価における「特別支援学校の特性」について分析しました。その上で特別支援学校における学校評価の進め方や評価項目の設定などについてその方向性を示しました。「学校評価」の活動が学校全体のしくみとして定着してくると、「学校評価」による評価結果を学校組織活性化のマネジメントシステムへ活用することが期待されてきます。

本研究はこうした観点から、学校評価を踏まえて特別支援教育の分野、特に今次においては特別支援学校における学校マネジメントの在り方に焦点化して2カ年の研究として取り組むものことにしたものです。

学校教育に関するマネジメントについては、平成10年9月の中央教育審議会「今後の地方教育行政の在り方について」で、学校の自主性・自律性の確立に関する審議がなされ、それを契機として、学校マネジメントの観点から学校評議員制の導入や学校評価システムの構築などの教育行政施策が展開されるようになりました。その後、平成12年の教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」、平成13年の文部科学省「21世紀教育新生プラン」では、学校や教育委員会に組織マネジメントの発想の導入が盛り込まれ、校長の独自性とリーダーシップの発揮等が明示されました。こうした流れを受け、全国の教育委員会でも学校マネジメントが重視され、研修等も積極的に実施されるようになってきています。

特別支援学校においても、校長のリーダーシップの下、教職員の役割分担の明確化などを通じて業務を効率化するなど、組織的・機動的な学校運営を実践していくことが一層重要となっており、特別支援学校における資源、ヒト・モノ・時間などを効果的・効率的に活用することにより、障害のある子どもたちに良質な教育を提供し、教育効果を上げることを考えていく必要があります。

本研究は、このような考え方に基づいて地域や子どもの状況を踏まえて創意工夫を凝らした特別支援学校の運営を展開していくために有用な知見を提供しようとして取り組んできました。本報告書をお読みいただき、忌憚のないご意見をお聞かせいただけますと幸いです。

平成25年3月

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
教育支援部 上席総括研究員
大内 進

目次

はじめに

I. 研究の概要	1
1. 背景と目的	
2. 研究の方法	
II. 我が国における学校マネジメントに関する取組の概要	4
III. 特別支援学校における学校マネジメントと校長のリーダーシップの現状 —全国特別支援学校長へのアンケート調査から	16
IV. 特別支援学校の学校マネジメントの実際と課題 —特徴ある取組をしている学校への訪問調査から	77
V. 特別支援学校の学校マネジメントへの教育委員会の支援 —都道府県及び政令指定都市教育委員会へのアンケート調査から	113
VI 海外における特別支援学校の学校マネジメント —英国での取組事例を中心に	129
VII. まとめ —特別支援学校の学校マネジメントと校長のリーダーシップの課題	137
VIII. 資料	
1. 全国特別支援学校長へのアンケート調査用紙	141
2. 都道府県等教育委員会へのアンケート調査用紙	151
IX. 研究体制	156

おわりに

